

## Vol.176 「小学校の工場見学」

社会科学習の中でも「工場見学」は、普段見ることができない工場内での製造過程を実際に見たり体験できたりすることで、子どもたちに人気の体験学習の1つです。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむなく工場見学を中止する学校が多いようです。では、工場見学を中止した学校はどのような代替学習を行っているのでしょうか？今回は、全国の小学校の教員100人を対象に今年度の工場見学の実施状況・予定、工場見学の代替りの学習内容、工場見学で学んでほしいことについて調査しました。

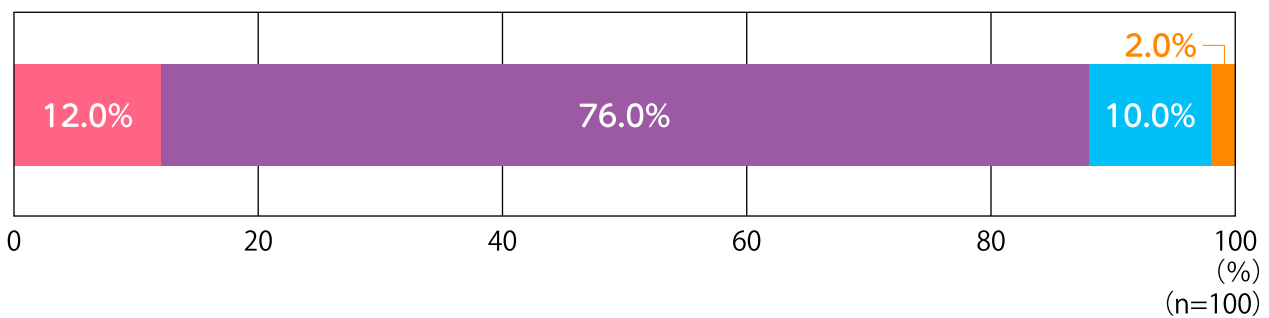


### 調査概要

調査対象：全国の小学校の教員100人  
 調査方法：インターネットリサーチ  
 実施時期：2020年7月

## Q 1. 今年度の工場見学の実施状況・予定

小学校の工場見学の実施状況・予定については、「いままで行っていて、今年度も実施予定(実施した)」(12.0%)に対し、「いままで行っていたが、今年度は中止予定(実施しない)」(76.0%)という回答が圧倒的に多く、いままで工場見学を実施していた小学校の中止が目立ちます。

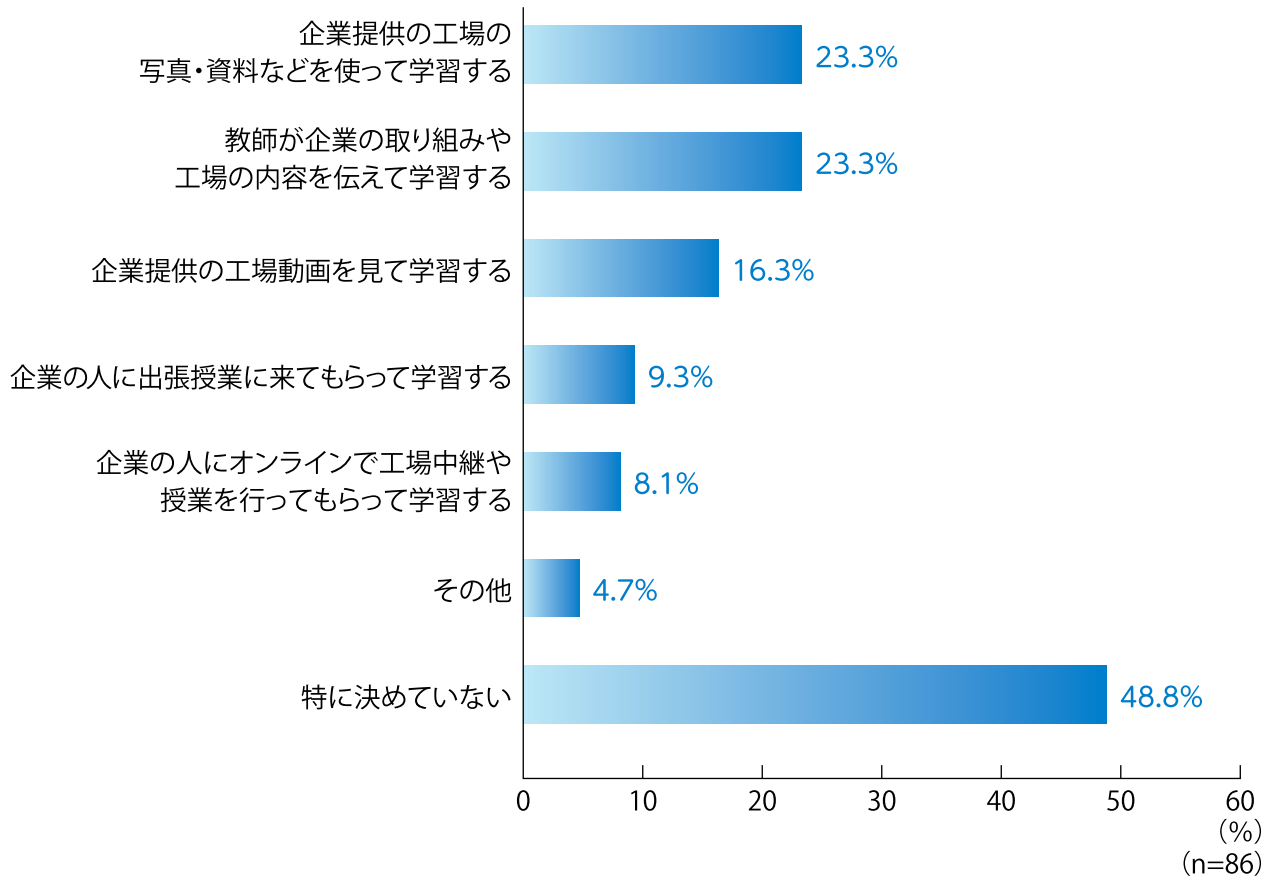


- いままで行っていて、今年度も実施予定(実施した)
- いままで行っていたが、今年度は中止予定(実施しない)
- いままで行っていないが、今年度も不実施予定(実施しない)
- いままで行っていないが、今年度は実施予定(実施した)

【図1】 あなたの勤務する小学校では、工場見学の実施状況・予定はいかがですか。(単数回答)

## Q 2. 工場見学の代わりにの学習内容

いままで工場見学を行っていた小学校が工場見学の代わりに、今年度、実施予定(実施した)学習の内容は、「特に決めていない」(48.8%)という小学校が多いようです。代替学習としては、「企業提供の工場の写真・資料などを使って学習する」(23.3%)、「教師が企業の取り組みや工場の内容を伝えて学習する」(23.3%)、「企業提供の工場動画を見て学習する」(16.3%)、「企業の人に出張授業に来てもらって学習する」(9.3%)という回答がみられました。



【図2】 工場見学の代わりに、今年度、実施予定(実施した)学習はどのような内容ですか。(複数回答)


## Q 3. 工場見学で学んでほしいこと

工場見学で子どもたちに学んでほしいことは、「ものをつくる過程と働く大変さ」、「製造現場の努力や工夫と、生活場面でみる製品をつなぐこと」、「安心、安全な製品を届けるために企業やそこに勤める人がしている工夫や努力」、「住んでいる地域にどのような企業があるのか」といった“ものづくり”の工程や働く人や地元企業の存在などがあげられました。

- ものをつくる過程と働く大変さ。
- 製造現場の努力や工夫と、生活場面でみる製品をつなぐこと。
- ものづくりへの関心。ひとつのものを作るのにも多くの製造過程がある。
- 実物を見て五感で体験し学ぶこと。
- 実際見たり、聞いたりして感じたこと、体験したことを学んでほしい。
- 安心、安全な製品を届けるために企業やそこに勤める人がしている工夫や努力。
- 実際のものづくりを見て見識を広げて欲しい。
- 工場の大切さ。
- 住んでいる地域にどのような企業があるのか。
- 地元企業の重要性。
- ものの作り方を通して、ものを大切に扱うこと。
- 人の手と機械がしている作業それぞれのメリットデメリット、つくる人の思い。
- 実際に働いている人や機械の音や熱気に触れていろいろなことに興味をもってほしい。

(n=100)

【表3】 工場見学で子どもたちに学んでほしいことは、どのような内容ですか。(自由回答)

 **まとめ**

社会科学習の進め方としては、①事前学習、②当日の工場見学、③事後学習などで展開されます。しかし、現在は②当日の工場見学の実施は難しい状況が続いています。

今回、全国の小学校の教員100人を対象に、今年度の工場見学の実施状況・予定を調査したところ、「いままで行っていたが、今年度は中止予定(実施しない)」(76.0%)という回答が圧倒的に多く、2020年7月時点では、工場見学の代わりに学習内容を「特に決めていない」(48.8%)という回答が多く半数を占めました。工場見学の代替学習としては、「企業提供の工場の写真・資料などを使って学習する」(23.3%)、「教師が企業の取り組みや工場の内容を伝えて学習する」(23.3%)、「企業提供の工場動画を見て学習する」(16.3%)、「企業の人に出張授業に来てもらって学習する」(9.3%)など、学校と企業が連携して学びを止めない取り組みがみられます。そのような中で、教師が工場見学で子どもたちに学んでほしいことは、「ものをつくる過程と働く大変さ」、「住んでいる地域にどのような企業があるのか」といった“ものづくり”の工程や働く人や地元企業の存在などがあげられています。子どもたちが社会を知り学ぶことは、未来を生きる子どもたちがよりよい社会を築いていくための基礎づくりに有益です。現地に行くという工場見学ができない中でも、企業による工場見学DVDの貸し出しや、リモート工場見学など、withコロナ時代の新しい体験学習の取り組みが期待されています。

毎月最終  
火曜日  
更新

**カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～**

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。  
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>